

< 国際投資の機会 >

世界中のあらゆる国の、平均的な投資家のために、様々な種類の海外投資があります。そのうちのいくつかについて、何が期待できるのか見ていくことにしましょう。

- 銀行預金

国内、海外ともに、投資方法としては最も一般的です。様々なスケジュールがあり、利率は長期になればわずかですが上がります。

一般的に、利率は投資としては最低ですが、安全性が非常に高いのが特徴です。

G7 諸国のすべてと G20 諸国のいくつかの国は、預金者へ特定の額までを保証する保険を提供しています。

唯一のリスクは貨幣価値の変動で、特に長期投資の場合、リターンの減少、あるいはゼロリターンになる可能性があります。

さらに、小さな国では、支払い準備もないのに高い金利を提供することがあります。

これは預金者を惹き付けるためで、預金者の償還請求権を無視してすぐに消滅します。

- 国債

世界中のすべての国が国債を発行しており、元金および償還期間に応じた利率の利息の支払いを、発行した政府が保証するものです。

最も一般的な償還期間は 1 年、2 年、5 年、10 年ですが、20 年というものもあります。金利は発行する政府の財務状況により、大きく異なります。

G7 諸国はすべて、過去数十年にわたる返済記録を保持しているため、国債への投資は非常に安全です。

また、これらの国々は、国債の支払いを確実にするための税制を整えています。

G7 以外の国では、リスクはかなり大きくなります。

例えば、過去 15 年の間に、ロシア、アルゼンチン、ブラジル、タイなどを含む国々がデフォルトを宣言しています。

さらに、すでに例としてお伝えしましたが、アルゼンチンの場合は為替レートの変動が大きく影響し、結果として高い利率にもかかわらず、利益が失われてしまいました。

ここで、過去 10 年間の G7 諸国の、国債の利率を紹介します。

日本	1.56%
米国	3.75%
カナダ	3.85%
イギリス	4.66%
ユーロ	4.12%

日本の金利は過去 10 年間、ほとんど変化がありませんが、カナダと米国は、2006 年までの最高値より 6% 以上低くなっています。

特に北米はインフレーションが加速しているようで、大部分のエコノミストは、少なくともカナダの国債はより高いレベルに戻ると予測しています。

- 国債投資信託

投資信託は投資クラブのようなもので、投資家から集められた資金をひとつにまとめ、それを投資するものです。

資金の市場価値の増減は、各投資家の投資額に基づいて割り当てられます。

多くの投資家が共同出資することにより、特徴の異なる多種多様な国債へ投資できます。

通常、その資金で活発に国債の売買を行うので、

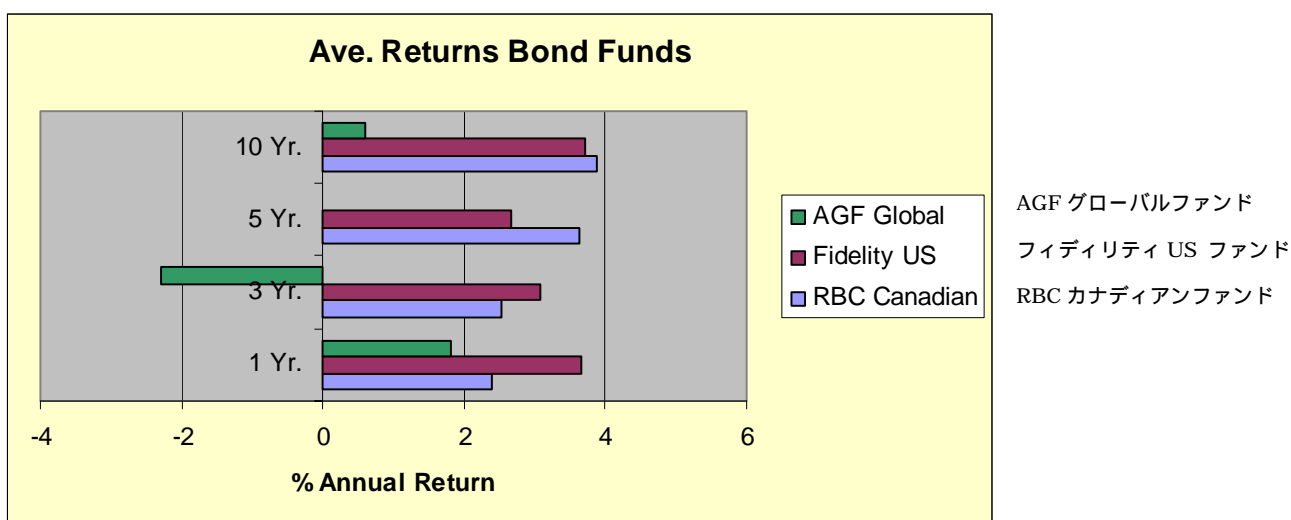
個々の国債を購入して満期まで保持する場合とは、結果が大きく異なる場合があります。

国債を満期まで保持した場合、いつ、いくら受け取れるのか、正確に分かっています。思いがけないことが起こることはありません。

ボンドファンドと呼ばれる債券型投資信託に投資した場合、債券を満期まで保持するより大きな利益を得るために、売買の時期を投資マネージャに委ねることになります。

次のグラフは平均的なボンドファンドのリターンの一例です。効率の良いものもあれば、悪いものもあります。

【ボンドファンドの平均的なリターン】



全体的に見て、大部分のアナリストは、大多数のボンドファンドは、投資して満期まで保持する基本的なパッシブ運用戦略を上回ることはないと結論付けました。

実際のところ、かなりの割合の資金がパッシブ運用を大きく下回っています。

もし、それでもなお、ボンドファンドへの投資をご希望であれば、より受動的な戦略か、あるいはパッシブ運用を長期にわたって堅実に上回っている記録を持つ資金運用について検討することをお勧めします。

特に、10年以上の長期投資の場合は注意が必要です。

なぜなら、ボンドファンドの料金体系では、時とともにかなりの額が差し引かれるからです。

- 社債

社債の特徴は国債と類似していますが、社債の場合は、発行した株式会社が、定められた期日に元金と利息を支払うことを保証するものです。

G7 諸国より大きな会社はありませんから、当然リスクは G7 諸国の国債より高くなります。

格付機関により、リスクが非常に低いと評価されているのは、トヨタ、GM、シェル、P&G、マイクロソフトなどです。

最近まで、米国の大手銀行や大手の国際銀行のほとんどが発行する社債は、非常にリスクが低いと評価されていました。

しかしながら、米国のサブプライムローン問題による衝撃や、他の銀行ローンに及ぼした副次的な影響により、現在は、米国の銀行の財務状態が大きな問題となってしまいました。

その結果、一部の銀行は、新しい資本を得るために、より高い利率を提供しなければならなくなっています。

他にも、財務事情と長期の生存力が疑わしい会社があります。

そのような資本の調達が必要な会社は、まるで投資のリスクを反映するかのような、はるかに高い利率で社債を提供するでしょう。

これらの社債は、一般的にジャンクボンドと呼ばれています。

多くの場合、換金しようとした時には、くず同然の価値しかなくなっているからです。

これらの社債は、心臓の強い方だけのためのものです。もし、選択が賢明であれば、かなりのリターンになります。